須木尊塾

H28.10.7(金)

久しぶりに"ヒャ～"っとした朝を迎えました。気温ぱと!! これからどんどん秋が深まり、紅葉があちこち一面に広がってきれいでしょうね～。須木の景色は、"春夏秋冬"それぞれ楽めるので、須木の魅力が多くあります。たぶん、すご～く寒くなるでしょうが、これからの季節が楽しみです。

さて、中学校は、十月七日(金)が一学期の終業の日です。約100日間が過ぎました。「入学式」「宿泊学習」「修学旅行」「福祉体験学習」「合同運動会」「鑑賞教室」「夏・秋の中体連」「各テスト」「夏休み」「生徒会役員選挙」など。日々の授業以外にも、様々な活動を行ってきました。どれをとっても子どもたちの成長に大きな影響をもたらしてくれました。そして、一人一人が輝く場を与えてくれました。

その他、ポスターや詩、宮日新聞に掲載された作品、英語暗唱大会など、実は文化面でも大活躍です!!

子どもたちは、一歩一歩成長し、様々な体験を通して"キャリア"を身に付けてきています。

実は、本校の目指すところは、

> キャリア教育の視点に立った「三位一体」のチームワークとフットワークです!!
>
> 「三位一体」とは、学校・保護者・地域
>
> どれをとっても、欠かすことはできません!! だからこそ、日々感謝するばかりです!!

地元の遺産は宝物!!

須木地区をあちこちしてると、学校の横にある「大年神社」をはじめ、歴史的建造物をめにします。きっともっとたくさんの遺産があるのでしょう。時間さえ是非、ルーツを発見してみたいと思いました。

ところで、「中学校では「総合的な学習」という時間があります。義務教育九年を通して"生き方"について様々なテーマで取り組んでいます。その中にさらに、「こすもす科」という市で統一して取り組んでいるものもあります。そのねらいは、「小林市に誇りをもち、豊かな生きがいをもって主体的に生きていこうとする力をもった人間に成長してほしい」という願いがこめられています。

先日、十月二日(日)に、「第二十六回黒木清次文化奨励賞」がありました。なんと市内から(419)編の応募があり、鹿島大誠くんが優秀賞、栗林美花さんが「入選」しました。とても嬉しいことです。地元出身の方の賞をもらえることは、とてもよい記念になります。

十月十六日(日)の文化祭では、子どもたちの作品や、劇など、日常取り組んできたことを発表したり展示したりします。

是非、"古里ふるさと"に生きる子どもたちの様子をご覧いただき、応援していただけると幸いです。

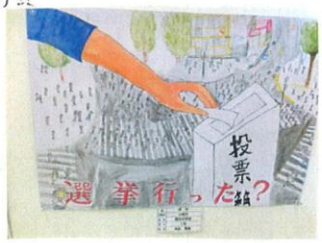
「くにたつために」　一年　鹿島大誠

ぼくは、しろつめぐさ
ゆびわを作ったり
くびかざりを作ったり
ぼくは、何でも作れる草
けれど
生まれたばかりのぼくは
くきがよわい
だからきたえる
風にたのんでゆらしてもらう
地面につかないようにくきをきたえる
そして
ぼくは、強くなる
くにたつ草になる

「タンポポ」　一年　栗林美花

風が吹き
たくさんの種が
どこまでも空高くとんでいきます
世界中にとんでいき
生まれた場所でまた花がさきます
タンポポってふしぎでしょう

わたげがとんでゆき
またたびに行く
そしてまた春を待ちます
あした夢がかなうでしょうか



すごいでしょね～!!
バッチリ見に行ってきました～

※下の作品は、「平成二十八年度、明るい選挙啓発ポスター作品展」で、宮崎のイオンモールであり、一年水谷香風さんの作品が掲示!!